

新聞からたどる黒埼の歴史  
明治時代、吉田村(当時)で、戸長の印を押した、  
村内限りの通貨のようなものがあつた。

明治時代に大野小学校開校?  
明治十四年一月十四日記事  
大野小学校衰微閉校せりと  
か?

西蒲原郡公立第十四番小学  
大野校は、追々衰微の体なり  
しが、この程全く閉校せりと  
か、其の起りは昨年十一月  
中、学校争論の末、郡役所ま  
で持出したれど、今に開校に  
も至らざれば同所の学齢生徒  
の父兄達は困り切つて居るよ  
し。

明治十四年二月三日記事

前記の正誤

西蒲原郡公立第十四番小学  
大野校は、四、五年來白井喜  
久造なる者の宅を借り校舎を  
開きありけど、客歳(昨年)  
十一月中、突然同人右宅を他  
方に売却せるに因り余儀なく、  
同所宗村萩松なる者の宅を  
借りここに移転す。該宅修繕  
のため僅かに四、五日間を  
休業し、同校の正規の  
休業日を除き人外に休業せ  
ずさきに一月十四日貴社新聞  
雑報欄内に於て本校(大野校)  
閉校言々記載の広告記載され

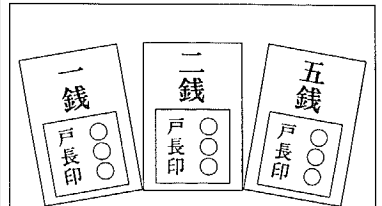
しは該校担任者のみならず同  
村郡区の名分に関係すること  
なれば実に遺憾に耐えざる也  
(中略)伏して乞う貴社新聞  
開余白に於て速かに正誤広告  
し該校担任者同村郡区の面目  
の汚れを浄め賜らんことを。

明治十四年一月三十一日  
西蒲原郡金巻村  
大野校事務掛樋口  
右同所戸長米川又市

右の通り申し越されれば  
皆さん其のおつもりで(新潟  
新聞社)

これは、明治十四年一月十  
四日の新潟新聞に大野小学校  
が衰微し、ついに閉校。父兄  
は大いに困つて居るという記  
事が載つた。こ  
れに對し驚いた  
大野校の事務係  
と大野地区の戸  
長が、学校に借  
りていた個人の  
家が突然売却さ  
れたため、休  
暇日も正規の休  
業より、それほ  
ど多くは休業し

ていない。学校が衰微閉校し  
たなど、まことに不名誉、ど  
うか御紙の広告欄にこのこと  
を広告して当地域の不面目を  
晴らしてほしいと、正誤を求  
めたもの。  
これに對し、当時のこと新  
聞社は「こう申し越されたの  
で皆さんそのおつもり  
で」と本当に簡単というが、  
のんきな正誤訂正であつた。  
村内でしか使えない通貨のよ  
うなものがあつた。  
明治十四年二月九日記事  
小銭拂底(西蒲吉田村)



吉田村で使われた金券はこんなものだろうか?  
十銭溜まらないと紙幣と替えられぬ

昨日の紙上にも記した通り  
小銭拂底でせつないからであ  
ろうか、西蒲吉田村にても一  
銭、二銭、三銭、  
四銭、五銭の切  
手を小さな厚紙  
に認め戸長(今  
の村長)の印形  
を突いて、その  
村内限を通用す  
るが便利にてよ  
ろしいようなれ  
ど、他村の者が  
その村の買物売

り物の造り取りしても、その  
切手が十銭溜まるまで紙幣  
(お金)と換えられぬから到  
底不用のものまで買込まなけ  
れば成らぬからと、愚痴をこ  
ぼして居るといふ。  
注、拂底とは、すっかりなく  
なること。品切れ。

お金に代る金券を戸長が発  
行するなど現在ではとても考  
えられないことである。しか  
も、売り買いで切手が十銭た  
まらなれどお金に換えられな  
いというから不便極まりない。  
よく住民が我慢していたもの  
である。

ところが、驚いたことに大  
野でも、今は故人となられた  
八区の渡辺幾子二さんから明  
治二十九年、それまで善久・  
柳作間を流れていた旧信濃川  
が廃川となり、その埋め立て  
工事の時これに似た話があつ  
たと聞かされた。その話とは、  
工事請負人である新潟の布施  
幸蔵という人が、今のような  
銀行制度のない当時、毎日使  
用する何百人もの人夫の日当  
に自分の作った金券(ボール  
紙に一銭、五銭、十銭、と書  
いて布施の印形を押したも  
の)を作つて渡したという。

布施は相当の財産家で、大  
野やその近郷の酒屋あたりの  
商店まで話をつけて、その金  
券で買物ができたという。  
また、下山田の古老、故坂

井市次郎九十翁からも、布施  
幸蔵という人のことを「あん  
な紙に印形を押しただけの  
の、偽物を作ろうと思えばい  
くらでも作られたのに、大腹  
の人だつた」と聞かされた。  
当時、今と違つて職業も少  
く町の人たちの生活は苦しく  
ほとんどがその日その日の日  
雇労働者で、大野から大勢の  
人たちがこの旧信濃川の埋立  
て工事に働いたということだ  
である。

明治の頃の黒鳥、北場の道  
明治十四年三月十六日記事  
黒鳥、北場の道  
本港(新潟市)より遠くも  
あらぬ西蒲原郡黒鳥、北場の  
両村は大野駅より内野駅への  
近道にして、  
最も便利なる  
道なれども、  
雪消えの候な  
どは泥濘深く  
凹凸のみにて  
殊に道幅も狭  
ければ、車馬  
はいうまでも  
なく草鞋足に  
ても歩行に悩  
む所ゆえ通行人の困難も一方  
ならば早く修繕を加へて貰  
たいもの、他村へ對して外聞  
が悪くないかネ、マーと或  
る人より報知のまま(昔は町  
を〇〇駅とも呼んだ)  
現在、大型や各種自動車の



現在の北場道路

通行激しい北場や黒鳥の道路  
から想像できない昔の道。ま  
た、昭和十年ころ大野から北  
場へ行くには、新田町の川口  
から、鳥原新地(旧信濃川堤  
防道)を通り、成海源八(家  
号)さん前から二股道を通つて  
蓮濁団地の手前を通つて小平  
方へ抜け、木場上組へ通ずる  
道。(通称「裏土堤」と呼ばれ  
た高さ六尺以上もある、江戸  
期から領分境として設けられ  
た囲い土手)この道の、今の  
ガス水道局近くにある観音堂  
の脇から、土堤を下る曲りく  
ねつた坂道があり、その道を  
下つた脇に小さな池があつ  
た。池のまわりには藪が繁り、  
昔、そこに川瀬が住んで通行  
人をよくばか  
したといわれ  
ている。  
そして、こ  
の道は当時北  
場を経て緒立  
から黒鳥へ通  
じていたが、  
今と違つて道  
幅も狭く荷車  
や、リヤカー  
がすれ違ふのがやつとで、道  
の両側には雑草が繁り常に人  
通りの少い淋しいような道だ  
た。  
注、昔は、北場から黒鳥への  
直線道路はなかつた。

# 冬に 映画祭

2月27日(土)・28日(日)

環境改善センター

日本映画を代表する名作を6本上映



### ◆プログラム

- 27日(土) ※ ( ) 内は主演
  - ①王将 (坂東妻三郎) 10時30分~
  - ②西鶴一代女 (田中絹代) 12時40分~
  - ③にがりえ (淡島千景) 3時10分~
  - ④隠し砦の三悪人 (三船敏郎) 6時~
- 28日(日)
  - ①豚と軍艦 (長門裕之) 11時~
  - ②隠し砦の三悪人 1時10分~
  - ③夜の河 (山本富士子) 3時40分~
  - ④王将 5時45分~

◆整理券 (2日間有効)・一般500円・学生300円・中学生以下無料  
整理券は教育委員会、体育館、図書館、北部公民館にあります。

◆主催 文化庁フィルムセンター、黒埼町教育委員会

◆問い合わせ 教育委員会 ☎377-3101

※会場は一部ゴザ敷にします。座ボタンやお弁当などを持参してもよいです。

こんな時。新しい年が明け一月が過ぎま  
たが、いかに過ぎたか? 今年のお正月は。正月とうそが  
とこと。今年のお正月は。正月とうそが  
奥底 出来ない年はない という声は私の周  
圍には。聞かれますが。これは。むしろ今年から  
の不況。進んでる政治不況に知らずには  
不況の表徴は。影響 与えていたから。少し  
思ひます。  
もういふ。今年の正月のテレビCMも。際どい  
印象深いものなりました。  
青年ネットワ。今年。一人一人の趣味。嗜好。と  
趣向。そして。イベントの企画。と。思ひます。  
これは。新年の企画の企画。と。思ひます。  
でも。ネットワの存在を。批判。している人は。どの  
くらい。多い。か。は。う。少。な。く。は。な。い。か。  
少ない。か。は。う。少。な。く。は。な。い。か。  
少ない。か。は。う。少。な。く。は。な。い。か。



## ネットワーク情報 (ワン) Vol. 6

山道力

山道力は、云々云々の話  
の面白い人である。12月  
暮れもお正月まで、火  
と云々云々。酒に酔った山  
道。街を暴れ 社会面の記事  
たすめに書いた。  
刺さることも、たすの日に酒に酔  
からされたこと。  
最近、スポーツ新聞各紙の見出しが  
オモシイ。  
と云々。東スポ。スポ。写真。と。  
見出しが月々。ついで。歌。と。と。  
足と止り。は。う。  
しかし。貴社。も。お正月。か。  
の。先。一。体。と。な。る。か。し。う。?

黒埼青年ネットワーク ☎377-3101教育委員会